



知ってほしい！上下水道料金のこと  
水道料金は何に使われているの？

# ～平成26年度決算状況のお知らせ～

山形市の水道・下水道はお客さまからの料金(使用料)をもとに事業を行う、独立採算制の公営企業です。  
平成26年度は上下水道ともに純利益を計上するなど健全な経営を維持しています。



## 水道事業

水道事業では、安全・安心な水道水をお届けするために、施設の修繕・維持管理を行いました。また、災害時にも安定して水道水をお届けするため、地震に強い水道管の整備を行うとともに、電力自給による経費削減を図るため、小水力発電設備設置工事を行いました。

### 1 水道水をつくり、届けるための収入と支出

収入  
61億7千万円

水道料金  
52億2千万円

長期前受金戻入  
5億2千万円  
その他 4億3千万円

支出  
53億6千万円

純利益 8億1千万円

職員給与  
10億9千万円

水道施設の運転・維持管理  
12億6千万円

減価償却費  
20億5千万円

4億9千万円  
借入金の支払利息 4億円  
その他 7千万円

### 水道施設の運転・維持管理



水をつくり、届けるための経費  
浄水場で水をきれいにするための薬品代や、水を送り、届けるための電気代などの費用に使われます。



浄水場運転の経費  
24時間休むことなく施設の運転・管理を行っています。  
◀見崎浄水場

### 建設改良費

水道施設の建設や整備に使われています。



水道管の耐震化(あこや町)  
地震に強い水道管へ入替えました。



小水力発電設備設置事業  
(松原浄水場)

浄水場内の電気代を年間約1,000万円削減しています！

### 2 水道施設を整備するための収入と支出

収入  
11億7千万円

不足額  
24億7千万円

企業債(国などからの借入金)  
7億2千万円  
3億8千万円  
国や県からの補助金  
その他 7千万円

支出  
36億4千万円

建設改良費  
27億3千万円

借入金を返済する費用  
9億1千万円

## 下水道事業

下水道事業では、お客さまの快適な暮らしを守るために、汚水管の整備や下水処理場(浄化センター)の耐震化を行うなど計画的に事業を進めました。また、浸水から街を守るため、雨水を河川に放流する雨水管の整備工事を行いました。

### 1 下水を処理するための収入と支出

収入  
88億4千万円

下水道使用料  
42億7千万円

長期前受金戻入  
17億4千万円

一般会計からの繰入金  
27億9千万円  
その他 4千万円

支出  
87億2千万円

純利益 1億2千万円

職員給与 2億5千万円

9億8千万円

減価償却費  
47億5千万円

4億8千万円

借入金の支払利息  
21億3千万円  
その他 1千万円

### 下水道施設の運転・維持管理



下水処理場の運転経費 ▲浄化センター



汚水管の維持管理  
定期的な清掃作業を行っています。

### 2 下水道施設を整備するための収入と支出

収入  
44億4千万円

不足額  
35億4千万円

企業債(国などからの借入金)  
29億円

国や一般会計からの補助金など  
14億5千万円  
その他 9千万円

支出  
79億8千万円

建設改良費  
20億7千万円

借入金を返済する費用  
59億1千万円

### 建設改良費

下水道施設の建設や整備に使われています。



▲早乙女地区



雨水管の整備事業 ▲国道286号松山地内

人が入れるくらいの大きな管が道路に埋まっているんだね！



むずかしい言葉がたくさんあるね。



専門用語についてくわしく説明します。

#### ① 減価償却費

施設が古くなり価値が減った分を費用として計上したもので、収支に反映されます。この費用は現金の支出を伴わないため、補てん財源として位置づけられています。

#### ② 長期前受金戻入

建設改良のための財源である長期前受金(工事負担金など)を、減価償却に合わせ、耐用年数の期間にわたって各年度に収益として計上していくものです。会計制度の変更により平成26年度から計上することになりました。



不足額は  
どうするの？

不足額はこれまでの  
積立金や、減価償却  
費などで補てんして  
います。



下水道事業には  
税金も使われているね！

下水道事業における費用の一部は、公害防止や都市計画の観点から一般会計(皆さまからの税金)より負担されています。

